特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 229 号]　令和 2 年 4 月 30 日発行

□草加パドラーズ事務局　住所　草加市松江 2-4-16　□電話　048-931-3844

3～4 月分 135袋の成果!

4 月 30 日(木)、前回の 3 月 8 日に国土交通省が 3 か月分、280 袋をトラック 2 台で回収していただいた以後、3 月 11 日から 4 月 30 日迄の 1 か月半に回収したゴミが 135 袋にもなりました。

　ゴミの種類はペットボトル、空き缶、空き瓶、コンビニ弁当殻、ビニール袋、プラゴミ類、家具、ソファー、絨毯、ブラウン管テレビ、自動車タイヤ、肥桶、丸太、角材などでした。4 月 5 日以降は、団体での活動は行いませんでしたが、**「三密」**を避けながらの自主活動が続きました。

草加市環境課長と話し合い

4月28日(火)、写真ミニ博物館で木村、井坂、中島の3名と丸山環境課長、係長さんとの話し合いを持ちました。年度末、前小関課長さんへの要望書を提出しその回答でした。①水質検査の実施　②今後の目標　③5市1町の広域連携　④環境省「海ごみゼロ運動」の連携　⑤汚染水不法投棄事業者への行政指導　⑥「川の街応援団」の組織化・・についてでした。新課長さんへ、この6年間の活動の様子をお伝えし、課題解決に向けてしっかりと取り組むようお願いしました。

自主活動浮遊ゴミ12袋

4月29日(水)、政府から外出自粛要請発令中、自主活動に木村、古田、井坂、中島が「三密」に注意を払いながら参加しました。天気も良く、満潮時ということで蒲生船着場までの約2ｋｍ間の清掃活動で12袋と23型ブ

ラウン管テレビ、石油ストーブの灯油タンク、4畳半の絨毯、丸太、木材などの成果でした。久しぶりの金明町ガマの自生地には、たくさんのゴミが絡みついていました。

土手沿いから「ご苦労様です・・。」と声をかけてくれたり、釣り人が付近のゴミを拾い集めた袋を手渡してくれたり、私達の活動を応援してくれました。少しずつですが、人が変わり、水辺や街が変わってきたと感じました。